

1本で、笑顔届けよう。
ユニリーバ子ども笑顔プロジェクト
寄付総額4,026万1,027円が東北の子どもたちへ

宮城県石巻市など5箇所・1600人の子どもたちに遊ぶ場所を

ユニリーバ・ジャパンでは、「小さな積み重ねが、大きな力に」という企業ビジョンのもと、弊社製品お買上1本ごとに1円が東日本大震災の被災地への寄付になる「ユニリーバ子ども笑顔プロジェクト」を実施いたしました。このキャンペーンによる寄付金4,026万1,027円は、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンを通じて、震災で学校や公園を失った子どもたちが安心して自由に遊べる「こどもひろば」の建設に役立てられます。

支援先：“こどもひろば” 建設予定地区

宮城県石巻市 鹿妻第5公園

3月11日、津波により浸水。それからずっとがれき置き場になっていました。今回の寄付により遊具を設置し、子どもたちが楽しく遊べる公園へと整備します。付近の小学校や保育所の子どもたちの他、校舎が使えなくなってバスで鹿妻地区まで通っている渡波地区の子どもたちなど、約700人の子どもたちに遊ぶ場所を提供できます。

宮城県石巻市 向陽町 蛇田団地北公園

震災後、向陽町の公園には、多くの仮設住宅が建設されました。蛇田団地北公園は、今ではこの地区の子どもたちが遊べる唯一の公園です。地震で壊れてしまった遊具等を整備し、約300人の子どもたちが遊べるようにします。

宮城県石巻市 鹿妻北 夢みの里こども施設

津波により浸水。鹿妻北地区は5歳以下の子どもがいる世帯の多い地区ですが、近隣の大きな公園が使用不可に。約300人の子どもたちにのびのびと外で遊べる場所を提供します。また、施設内では、震災後、生活の再建と育児を両立させているママ・パパのための子育て支援も行います。

宮城県石巻市 大街道 五番谷地公園

津波により浸水。土砂のためか地盤が固まって雑草が生い茂り、近隣の幼稚園や保育園の子どもたちが遊べない状態に。整備することで、約300人の子どもたちに遊ぶ場所を提供します。

岩手県釜石市 中妻町仮設団地

集合住宅の3階の高さの津波に襲われた釜石市。中妻町には市内で最も早く仮設団地が設置され、現在118軒の仮設住宅で大人205人、子ども44人が暮らしています。9月には自治会も発足しましたが、住民が集まれる場所がなく、活気がありません。子どもたちの遊ぶ姿も見られません。同団地内で初めての集会所を建設し、その中におもちゃのある“こどもひろば”を設置することで、大人には交流の場を、子どもには楽しく遊べる場を提供します。

ユニリーバ子ども笑顔プロジェクト 概要

製品お買上1本あたり1円をセーブ・ザ・チルドレンを通じて東日本大震災の被災地の子どもたちのために寄付。

【対象製品】 ラックス、ダヴ、モッズ・ヘア、ポンス、アックス、
レセナ、ジフ、ドメストの全製品

【対象期間】 2011年10月1日(土)～2011年11月30日(水)

